

# 令和5年度 宇都宮市立河内中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

### (1) 基本目標

生徒の知・徳・体の調和のとれた成長を期し、豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きようとする生徒を育成する。

### (2) 具体目標

- ① 実力を養う…たくましい体力と何事にもくじけぬ強い精神力(耐性)を養い、自ら学習しようとする意志力をもつ生徒を育てる。
- ② 友愛を深める…礼を重んじ、友情を育て、深め、思いやりのある生徒を育てる。
- ③ 品性を高める…人格向上を目指して自己を磨き、豊かな心をもつ生徒を育てる。

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

### (1) 「魅力ある学校」(感動ある学校, 学び合う学校)

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の授業実践
- ② 感動的な学校行事の推進
- ③ 言語活動と読書活動の推進
- ④ 人権意識の涵養と規範意識の醸成
- ⑤ 保護者との連携強化

### (2) 「地域とともにある学校」(カリキュラムマネジメント)

- ① 地域教育力の活用
- ② 地域行事への生徒の参加・協力の推進
- ③ 「宇都宮の良さ」「河内地区の良さ」を発信し、考えさせる指導の充実
- ④ 地域奉仕作業、地域美化活動等の展開
- ⑤ 学校の教育活動の地域への情報発信

### (3) 「やりがいのある学校」

- ① 協働する教職員組織の構築
- ② 教職員の授業力の向上と生徒の学力の向上
- ③ 教職員の服務規律の確保
- ④ 教職員の業務(働き方)の見直し

## 3 学校経営の方針（中期的視点）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

### (1) 確かな学力の育成

- ① 授業研究の日常化・活性化（「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善）(校内研修、一人1授業公開、地域学校園全体研修) ○② 考える力を育む言語活動の充実(学校課題)
- ③ 情報活用能力を育成する教育の充実(GIGAスクール構想の実現) ○④ 郷土への愛情を育む学習の推進（「宇都宮学」「道徳科地域教材」の実施）
- ⑤ 家庭学習の充実(端末の持ち帰りの推進, AI型個別学習ドリルの有効活用)

### (2) 豊かな心の育成

- ① 「特別の教科 道徳」(考える道徳・議論する道徳の充実)
- ② 読書に親しむ態度の育成（「地域学校園図書館利用指導」の充実）
- ③ あいさつ、返事、言葉遣いの指導（あいさつ運動(全校・小学校)の活性化）
- ④ 「いじめ防止基本方針(改訂版)」の着実な運用
- ⑤ 感動体験を重視した学校行事の充実(運動会、合唱コンクール、マラソン大会等)

### (3) 健康・体力の向上

- ① 健康的な生活を送るための指導の充実
- ② 新体力テストの結果を活用した教科体育の充実
- ③ 縦割りによる運動会の充実
- ④ 安全に配慮したマラソン大会の実施
- ⑤ 自他の安全を守る能力の育成(避難訓練、安全集会、感染症防止等)

### (4) インクルーシブ教育及び個に応じた指導の充実

- ① 障がいに対する理解・研修及び合理的配慮への取組
- ② いじめや不登校の未然防止、早期対応、組織的な対応(Q-Uの活用、SC・MSとの連携、関係機関との連携、家庭との連携)
- ③ かがやきルームの効果的活用と別室登校支援の充実

### (5) 学校における教職員の働き方改革の推進

- ① 多様な専門スタッフと連携したチーム力の向上
- ② 月1回以上のリフレッシュデーの設定
- ③ 学校業務の効率化と勤務時間の管理
- ④ 部活動指導体制の見直し
- ⑤ 学校行事の見直しと実施に向けた練習・準備等のスリム化

### (6) 地域とともにある学校づくりの推進(カリキュラムマネジメント)

- ① 宮・未来キャリア教育の推進及び地域人材の活用(ふれあい文化教室、福祉教育、キャリア教育、健康教育)
- ② 地域協議会との連携・地区体育祭、文化祭、小学校運動会への参加協力・書写指導・図書館・食農体験・花壇整備等における地域ボランティアの活用・「未来塾(放課後学習支援活動)」への参加呼びかけ

- ③ 「学校マネジメントシステム」の中間期評価の実施と活用 ④ 学校だよりやHP等を通しての情報発信

[河内地域学校園教育ビジョン]

『すこやか河内 ～小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します～』

#### 4 教育課程編成の方針

- (1) 関連する法令、栃木県教育振興基本計画、宇都宮市学校教育推進計画に従い、本校教育目標が達成できるように全職員の理解と協力により編成する。
- (2) 地域や生徒の実態、学校の施設設備、職員組織を考慮し、必修教科、特別の教科道德、総合的な学習の時間及び特別活動（学級活動、生徒会活動、学校行事）の調和を図って編成する。
- (3) 基礎的・基本的な内容の指導の徹底、個性を生かす教育の充実、自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる能力の育成を図り、生涯教育の基礎を培うことを目標に編成する。
- (4) あらゆる教育活動の場面で、「学び合い・喜び合い・励まし合う」活動内容や場を設定し、生徒同士や教職員および地域の人々との交流を深めながら、3あい運動の深化・拡充を目指し編成する。
- (5) 学校の教育活動全体を通じて、体力の向上や健康の増進を図るため体育的活動を積極的に行い、健康で安全な生活を送るための基盤となるよう編成する。

#### 5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

##### 【学校運営】

- ① 「魅力ある学校」づくり ② 感動的な学校行事の推進 ○③ 計画的な小中一貫教育の推進  
④ 職員の働き方の見直し

##### 【学習指導】

- ① 学力調査等を活用した共通実践 ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善  
○③ 学校園授業コンセプトの定着・充実 ○④ 言語力の基礎の徹底

##### 【生徒指導】

- ① 「特別な教科 道德」の充実 ② 体験活動・読書活動の充実  
③ 正しい言動で自分を表現できる生徒の育成～元気なあいさつ、さわやかな言葉遣いと身だしなみ、素直に「ごめんなさい」～

##### 【健康（体力・保健・食・安全）】

- ① 『健康増進・体力向上の基本的な知識を身に付け、自分の身体の状態を理解し、体力向上に励む生徒の育成』  
○② 運動に親しむための体力づくり ○③ 望ましい食習慣の形成  
④ 生徒の健康・安全を第一に考えた、学校生活や学校行事等の計画・運営（感染症対策等）

#### 6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A 拡充、B 継続、C 縮小・廃止、D 新たに設定、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	A 1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 80%以上	○① 主体的、対話的に授業に取り組む生徒の育成を目指して、「考える力を育む言語活動の充実」を図る。 ② 方法や形態等の工夫を図り、言語活動の場면을効果的に取り入れた授業を行う。	B	【【達成状況】】 教職員の肯定的回答は 96.9%で、目標指標を 16.9 ポイント上回っている。また、生徒の肯定的評価が 92.3%と高い数値となっている。 【【次年度の方針】】 ○地域学校園の授業コンセプトの研究に取り組み、「主体的・対話的で深い学び」が全ての教科で実践できるようにする。

1- (2) 豊かな心を 育む教育の 推進	A 2 生徒は、思いやりの心 をもっている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的 回答 80%以上	① 「特別の教科 道徳」の授業改善 に取り組み、生徒の道徳性を高め る。 ② 温かな人間関係を基盤とした学級 経営を推進する。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答は 94%で、目標指 標を 14 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 生徒と学級担任の良好な人間関係を 基盤とした学級経営や、「特別の教科 道徳」の充実を図る。
	A 3 生徒は、目標に向かっ てあきらめずに、粘り強 く取り組んでいる。 【数値指標】⇒生徒の肯定的 回答 80%以上	① 生徒が興味や関心をもって学習 に取り組む課題設定についての授業 研究を推進する。 ② 運動会や合唱コンクールに、学級 や団で協力して取り組ませ、達成す る喜びを感じさせる。	B	【達成状況】 生徒の肯定的評価は 83.2%で、目標 指標を 3.2 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 学校行事や部活動の目標を明確にし、 その達成に向けて具体的に取り組める ようにする。また、「宮・未来パスポ ート」の活用法について検討する。
1- (3) 健康で安全 な生活を実現 する力を育む 教育の推進	A 4 生徒は、健康や安全に 気を付けて生活してい る。 【数値指標】⇒教職員の肯定 的回答 90%以上	① 感染症に対する予防策を考え、実 践することで、自他の健康を守る。 ② 交通安全教室や、避難訓練、日常 の巡回指導での声かけを通じて、安 全に生活することの大切さを意識 付ける。	B	【達成状況】 教職員の肯定的評価は 92.2%で、目 標指標を 2.9 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 食育を、教科・領域を含めて実施でき るようにする。また、生徒のリスク感 覚が向上するよう、具体的な指導や声か けを行う。
1- (4) 将来への希 望と協働する 力を育む 教育の推進	A 5 生徒は、自分のよさや 成長を実感し、協力して 生活をよりよくしようと している。 【数値指標】⇒生徒の肯定的 回答 80%以上	① キャリアパスポートの記入や宮 っ子ダイアリーを通して、客観的 に自分のよさや成長を見つめると ともに、互いの意見を認め合うこ とで、自己肯定感を高める。 ② 協力して生活をよりよくするた めに、学級活動等で話し合い活動 を充実させる。	D	【達成状況】 生徒の肯定的評価は 88.12%で、目標 指標を 8.1 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 様々な活動で振り返りを積み重ね、客 観的に自分のよさを発見できるように させる。学級活動で、学級をよりよく するための話し合いを行う。
2- (1) グローバル 社会に主体 的に向き合 い、郷土愛 を醸成する 教育の推進	A 6 生徒は、英語を使って コミュニケーションして いる。 【数値指標】⇒生徒の肯定的 回答 70%以上	① A L T との交流の場面を意図的 に設定するとともに、積極的に会話 するよう生徒に働きかける。 ② 生徒会活動で、国際交流に関する 内容を積極的に取り上げる。	B	【達成状況】 生徒の肯定的評価は 73.1%で、目標 指標を 3.1 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 授業以外に、インターナショナルボー ドの活用や、A L T と生徒との交流の機 会を増やせるよう工夫する。
	A 7 児童生徒は、宇都宮の 良さを知っている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的 回答 70%以上	① 宇都宮学の授業を充実させ、宇都 宮の良さを知らせる。 ② 道徳科の授業で、郷土の良さにつ いて改めて考える機会をもつ。	B	【達成状況】 生徒の肯定的評価は 83.2%で、目標 指標を 13 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 総合的な学習の時間や食育の指導計 画の中に、宇都宮の良さを学べる内容 を位置付ける。また、学校・学年だより 等に宇都宮の良さを発信する内容を意 図的に設ける。
2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 生徒は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】⇒教職員の肯定 的回答 85%以上	① デジタル教科書やタブレット等 の I C T 機器を授業で積極的に利 用する。 ② 総合の調べ学習等、図書室を授業 で積極的に利用する。	B	【達成状況】 教職員の肯定的評価は 96.9%で、目 標指標を 11.9 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 タブレット端末の積極的な利用と、図 書資料を学習に活用する工夫を続ける。

2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	A9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 70%以上	① 生徒会活動で、リサイクルに関する内容を積極的に取り入れる。 ② 地域協議会の協力を得て、学校の緑化やグリーンカーテン等の環境保全活動を積極的に展開する。	【達成状況】 生徒の肯定的回答は 80.2%で、目標指標を 10.2 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 各教科・領域、学校行事等で、横断的に学習ができるよう教育課程を工夫する。
3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 校内支援委員会、教育相談係会、生徒指導係会の情報を全職員で共有し、生徒の支援に生かせるようにする。 ② かがやきルーム担当と教科担任が連携を密にし、効果的な支援が行えるようにする。	【達成状況】 教職員の肯定的評価は 90.6%で、目標指標を 5.6 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 支援が必要な生徒について全教職員で共通理解を図り、個に応じたきめ細やかな支援ができるようにする。また、スクールカウンセラーやメンタルサポーターを活用し、保護者の支援にも力を入れる。
3- (2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ⇒生徒の肯定的回答 85%以上	① いじめゼロ集会やスマホ等の適正な使い方など、いじめ根絶を図る指導を継続的に行い、その取組を学校だよりや生徒指導だよりなどにより情報提供する。 ② 教育相談を計画的に行うほか、アンケート調査を実施し、いじめの早期発見に努める。	【達成状況】 生徒の肯定的回答は 95.5%で、目標指標を 19.5 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 生徒間のトラブルの早期発見、早期解決を徹底し、いじめに対して全教職員で取り組む。また、いじめ防止の取組を学校・学年だよりやホームページ等で保護者に周知し、家庭との協力関係を強化する。
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 80%以上	① 生徒一人一人のよさに目を向け、認め伸ばす指導をする。 ② 教育相談係会での検討を基に、生徒一人一人の状況にあった支援に努める。	【達成状況】 生徒の肯定的回答は 94.4%で、目標指標を 14.4 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 適応支援教室や教育相談係会の運用の成果と課題を検証し、一人一人を大切にしたり良い支援の方法について検討する。
3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 90%以上	① 一人一係活動を実践するなど一人一人を大切にしたり、温かい雰囲気での学級経営に努める。 ② 生徒会活動と各種学校行事の活性化を図り、生徒の自主的・継続的な活動を推進する。	【達成状況】 生徒の肯定的回答は 93.7%で、目標指標を 3.7 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 全校体制で、生徒ひとり一人のよさを認めることで、生徒に安心感を与える。〇みんなが元気にあいさつし合える環境づくりを進める。また、生徒会活動や学校行事を立案する際に、今年度の反省を生かし、より充実した内容となる計画を立案し、実践する。
3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化			
4- (1) 教職員の資質・能力の向上	A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 85%以上	① 「一人1授業」等の研修により授業力向上に努め、個に応じた指導、分かる授業、楽しい授業を展開する。 ② 部活動休養日や、週末の学習課題を工夫することにより家庭学習を習慣化させ、基礎学力の定着に努める。	生徒の肯定的回答は 92.9%で、目標指標を 7.9 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 授業公開や「一人1授業」等の取組を充実させ、教職員一人一人の授業力を向上させる。また、時間割を工夫し、習熟度別学習やT・Tを効果的に運用する。地域協議会を中心とした「放課後学習室」も運用も進めていく。

4- (2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 教職員全員が教育目標や、学校経営の重点を意識し、目標をもって業務にあたる。 ② スクールカウンセラー等の専門スタッフとの積極的な連携を推進する。	【達成状況】 教職員の肯定的評価は 75%で、目標指標を 5 ポイント下回っている。また、前年度より 6 ポイント下回っている。 【次年度の方針】 カリキュラムマネジメントを働かせ、様々なスタッフが授業等の教育活動に関われるようにする。 学校経営の方針の実現に向けて、全職員で「チーム河内」を合言葉に取り組む。
4- (3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 60%以上	① 文書やデータの管理方法を改善し、前年度の資料を基に業務を行えるようにする。 ② 行事内容の精選や、会議の効率化を教職員からの提案を基に推進する。	【達成状況】 教職員の肯定的評価は 71.9%で、目標指標を 11.9 ポイント上回っている。前年度から 29 ポイントも上回ったが、市平均より 4.7 ポイント下回っている。 【次年度の方針】 会議内容の見直し等、業務の効率化を進めるとともに、学校行事などの内容の精選を図る。さらに、保護者や地域と連携した働き方改革を推進する。
5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 地域学校園研修や各部会・教科部会等を定期的実施し、計画的に推進する。 ② 「小中一貫教育だより」や「学校だより」等による情報発信に努め、保護者や地域への周知を図る。	【達成状況】 保護者の肯定的回答は 83.9%で、目標指標を 3.9 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 ○事業内容の見直し、実効性のある小中一貫教育・地域学校園の取組を行う。また、各種たより等において情報の発信を積極的に行う。
5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① P T A 活動の活性化を図る。 ② ホームページの内容の充実を図り、地域・家庭への情報発信を高め、開かれた学校づくりを推進する。	【達成状況】 保護者の肯定的回答は 87.4%で、目標指標を 7.4 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 ホームページを更に充実させ、学校の情報を発信していく。また、授業公開や授業参観の実施により、開かれた学校づくりの一層の推進を図る。
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 月例安全点検や、校内巡回を通じて危険個所の早期発見、対処に努める。 ② 学校業務員、機動班による修繕作業を確実に進行。	【達成状況】 教職員の肯定的評価は 90.6%で、目標指標を 0.6 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 安全点検を必ず行うとともに、指摘箇所を学校業務員、機動班と連携して速やかに改善させる。老朽化した施設の修繕を市と連携して進める。
6- (2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 75%以上	① I C T 支援員との連携を図るとともに、校内研修を行うことでタブレット端末の活用を行う。 ② 校内の I C T 機器が効率よく使えるよう、利用法を工夫する。	【達成状況】 教職員の肯定的評価は 93.8%で、目標指標を 18.8 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 I C T 支援との連携を図るとともに、校内研修を行い、全職員がタブレットを使用できるようにする。
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	○① 全教育活動を通じて、明るくさわやかなあいさつができるように、全職員で指導を行う。 ○② 小中一貫教育、学校交流連携促進部会との関連を図りながら、小中学校、地域ぐるみのあいさつ運動を展開する。	【達成状況】 教職員の肯定的回答は 87.5%で、目標指標を 7.5 ポイント上回っているが、昨年度より 7.7 ポイント下回っている。 【次年度の方針】 ○「かわち あいさつの日」、地域学校園あいさつ運動の継続と、生徒会企画のあいさつ運動の実施など、あいさつの活性化を図る。

	<p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① ルールを守る、いじめをしないなど、人として大切なことを全ての職員が、すべての活動の中でしっかりと指導する。 ○② 小中一貫教育、学校生活・適応支援部会との連携を図りながら、小中で協力して指導していく。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 95.1%で、目標数値を 10.1 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 今年度に引き続き、基本的なルールやマナーの指導を、全教職員共通理解のもと取り組む。また、旅行的行事の際に必要なマナーの指導を丁寧に行う。</p>
	<p>B3 生徒は家庭学習にしっかりと取り組んでいる。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 教科の宿題以外に、自主学习ノートを主体的に利用するなど、一日に2時間は家庭学習に励む。 ○② 小中一貫教育、学力向上部会と連携を図りながら、小中で協力して指導していく。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 79.5%で、目標数値を 0.5 ポイント下回っている。 【次年度の方針】 家庭学習の取り組み方を、学校内で同一歩調にて実施する。 ○小学校と中学校で連携を図り、家庭学習の習慣化を図る。</p>
	<p>B4 生徒は、学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる。 【数値指標】⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 生徒主体の学校行事や生徒会活動が実施できるよう、各担当者が意図的、計画的に生徒を指導する。 ② 活動実施後の振り返りを十分にを行い、次回の課題を明らかにして改善につなげるようにする。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的評価は 100%で、目標指標を 15 ポイント上回っている。 【次年度の方針】 生徒会活動や学校行事を行う際、PDCAサイクルにより内容を改善・充実させる。</p>
	<p>B5 学校は、緑化活動や清掃など、環境整備に熱心に取り組んでいる。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 無言清掃への取組等、清掃活動を充実させる。 ② 教室の整理・整頓等、落ち着いた学習環境が維持できるよう、生徒に積極的に指導する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 79.5%で、目標指標を 5.5 ポイント下回っている。 【次年度の方針】 無言清掃の継続した取組を生徒に浸透させるとともに、全職員で共通理解のもと指導する。また、学級単位で、落ち葉掃きや除草などを行う。</p>
	<p>B6 学校は読書活動の推進に熱心に取り組んでいる。 【数値指標】⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 朝の読書を継続し、読書の習慣を全校生徒に定着させる。 ② 図書委員会の活動を活性化し、学校図書館の積極的利用を推進する。</p>	<p>【達成状況】 生徒の肯定的回答は 72.8%で、目標指標を 7.2 ポイント下回っている。 【次年度の方針】 朝の読書や、図書委員会によるブックトークやビブリオバトル等、読書啓発活動を継続する。保護者に図書ボランティアとして、ブックトークをお願いする。</p>

### 【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・宇都宮市の共通評価となる 26 の質問 (A1～A20、B1～B6) において、調査した全対象者 (教職員・保護者・地域住民・生徒) から回答を得た 80 項目のうち、肯定的回答の割合が 80% を上回った項目は 65 項目 (全体の約 81%、前年度は 80.3%) であり、本校の教育活動が全体として肯定的に受けとめられていると考えられる。一方で、市の平均を上回っている項目は 22 項目 (全体の約 28%、昨年度は全体の約 32.9%) であることから、改善すべき点もあることが分かる。しかし、前年度よりは、約 5 ポイント改善されている。今後も本校教育目標の実現に向けて取り組みたい。
- ・「自己評価」である教職員評価では、学校独自の 2 項目を含めた全 26 項目中、23 項目 (全体の約 88%、前年度は約 89.3%) で肯定的評価が 80% 以上の値を示している。前年度とほぼ同じくらいである。校務分掌の担当者を中心に、今年度も全職員で取り組んだ成果が出たと思われる。
- ・本校ならではの教育活動にあたる B1～B6 の独自の質問においては、内容が変更になり、また数も増えたため、前年度との比較は難しいが、調査した各対象者から回答を得た 24 項目のうち 19 項目の肯定的回答が 80% を上回っている。今後は、校内でチームとなって取り組むとともに小中の連携が一層望まれる。(今年度は約 79%、前年度は 12 項目のうち 11 項目、約 92%)
- ・B2「生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている」B1「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」では、教職員・保護者・地域住民・生徒の全てにおいて、肯定的回答が平均 94.6% (前年度は 95.8%) となり、前年度同様しっかりと基本的な生活習慣が定着している結果となった。

- ・ A7「生徒は、宇都宮の良さを知っている」 A9「生徒は、持続可能な社会について関心をもっている」は、他の項目と比較すると、肯定的回答の割合が約 79.4%（前年度は 73.1%）と前年度より 6.3 ポイント上回った。年度当初から、総合的な学習の時間と各教科との連携を図ったり、司書業務職員による持続可能な社会の情報提供が行われたりした成果が出たと思われる。また、文化祭において宇都宮についての調べ学習を掲示したことで、保護者が見たことも大きかった。
- ・ A18「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」は、保護者の肯定的割合が 87.4%と、前年度より 7.1 ポイント上回った。職場体験学習の発表会や地域未来塾、未来会議の実施、夢講座や各種講演会等の実施などが行われるとともに、学校ホームページと学校だよりによる保護者への周知が奏功したと思われる。
- ・ A18「勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」においては、リフレッシュデーの実施や、超過勤務職員に対する面談を行うなど、改善に向けて取り組んできた結果、今年度は 71.9%となり、前年度を 29 ポイントと大きく上回った。しかし、市平均より 4.7 ポイント下回っている。「働き方改革」の周知・徹底と併せて、行事や行事のための練習等、内容の精選を行う。また、外部指導員の活用や、顧問が交替で部活動の指導にあたるなどして、負担軽減にも努めたい。

## 7 学校関係者評価

- ・ 小学校では情報処理能力が伸びてきている。中学校でもタブレットを積極的に利用していて良かった。
- ・ 正しいデータ入力をするなど、情報処理教育を今後も推進してほしい。
- ・ 「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」 「教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。」 「学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。」の生徒、教職員の肯定的回答の割合が高く安心した。
- ・ 「勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」の教職員の肯定的回答率が、昨年度より 29 ポイントも上がって、すばらしい。どのような工夫をしているのか。
  - ⇒ 勤務時間を意識するように管理職等が声かけを行っている。
- ・ 全体的に生徒の評価が高い。⇒ 「宇都宮のよさを知っている。」などの生徒の評価が高くなっている。
- ・ 能登半島地震では近所同士で助け合って命が救われている。互いに支え合う教育をしてほしい。
  - ⇒ ボランティアへの参加や道徳を通して、今後も共助の精神を育てていきたい。
- ▲ 「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」の生徒、教職員の肯定的回答は生徒が 95.5%、教職員が 96.9%と高いが、保護者は 71.3%と低い。様々な方法を使って、学校の取組を保護者に伝えるようにしてはどうか。また、いじめについては、保護者はとても心配し関心を寄せていると思う。母親の意向を聞く機会を作してほしい。
- ▲ 「学校に関わる職員が、職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」の教職員の肯定的回答が 71.9%と昨年度より、6 ポイント下がっているのはなぜか。
  - ⇒ 学校行事などは全職員で協力して取り組んでいる。意見の相違などは、互いにコミュニケーションをとるなどして改善し、チーム一丸となって業務に取り組みたい。
- ▲ 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」の教職員の肯定的が昨年度より約 9 ポイント下がったのはなぜか。
  - ⇒ 昇降口が滑りやすいことについては、人工芝を敷くことで対応した。今後も安全に配慮した環境づくりに取り組みたい。

▲は改善点  
※意見の集約もあり

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 本校の教育活動や学校運営については、これまで同様、全体として肯定的に評価されている。特に、A4「生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」では、様々な感染症拡大の懸念がある中においても、自他の健康（命）について意識が高まり、4者の肯定的評価平均が約 95.7%（前年度と同じ 96.9%）と極めて高くなっている。他に、A2「生徒は、思いやりの心をもっている。」 B4「生徒は、学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる。」の評価も高く、また、A13・14では、生徒一人一人のニーズに応じて全教職員が丁寧に対応している結果となっている。引き続き、家庭や地域との連携を進め、「開かれた学校づくり」を一層推進し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。

- ・本校の課題であった、「宇都宮の良さ」「持続可能な社会」が大幅に改善された。ICTを使った授業の効果が  
出たと思われる。司書業務職員との連携や、保護者の文化祭への見学による、活動への理解も大きいと思わ  
れる。
- ・一方で、A15「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」は、教職員の肯定  
的割合が75%と前年度より、6ポイント下回るとともに、市平均より17.3ポイント下回っている。生徒の  
望ましい成長のためにも、学校経営の方針の実現に向けて、チーム一丸となって取り組むことが何より大切  
である。教職員同士の連携を強めるとともに、MS、SC、地域人材の活用を図りたい。また、教職員による  
会議で出た意見を実行に移していく。
- ・A18「勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」は、大きく改善されたものの、まだまだ超過  
勤務をする教職員も多い。生徒に接する時間を大切にしながらも、勤務時間を意識した働き方ができるよ  
うに意識改革に取り組む。
- ・感染症拡大については、現在も予断を許さない状況であるが、家庭との協力や地域・学区内小学校との連携  
について再確認し、その中でできることを作り出し、生徒にとって有意義な教育活動を進めていく。
- ・高度な情報化社会や国際化、AIの活用等、目まぐるしく社会が変化していく中、学校からの情報を積極的  
に発信し、そして、家庭や地域等多くの方々からの協力を得ながら、『チーム学校』を推進していきたい。